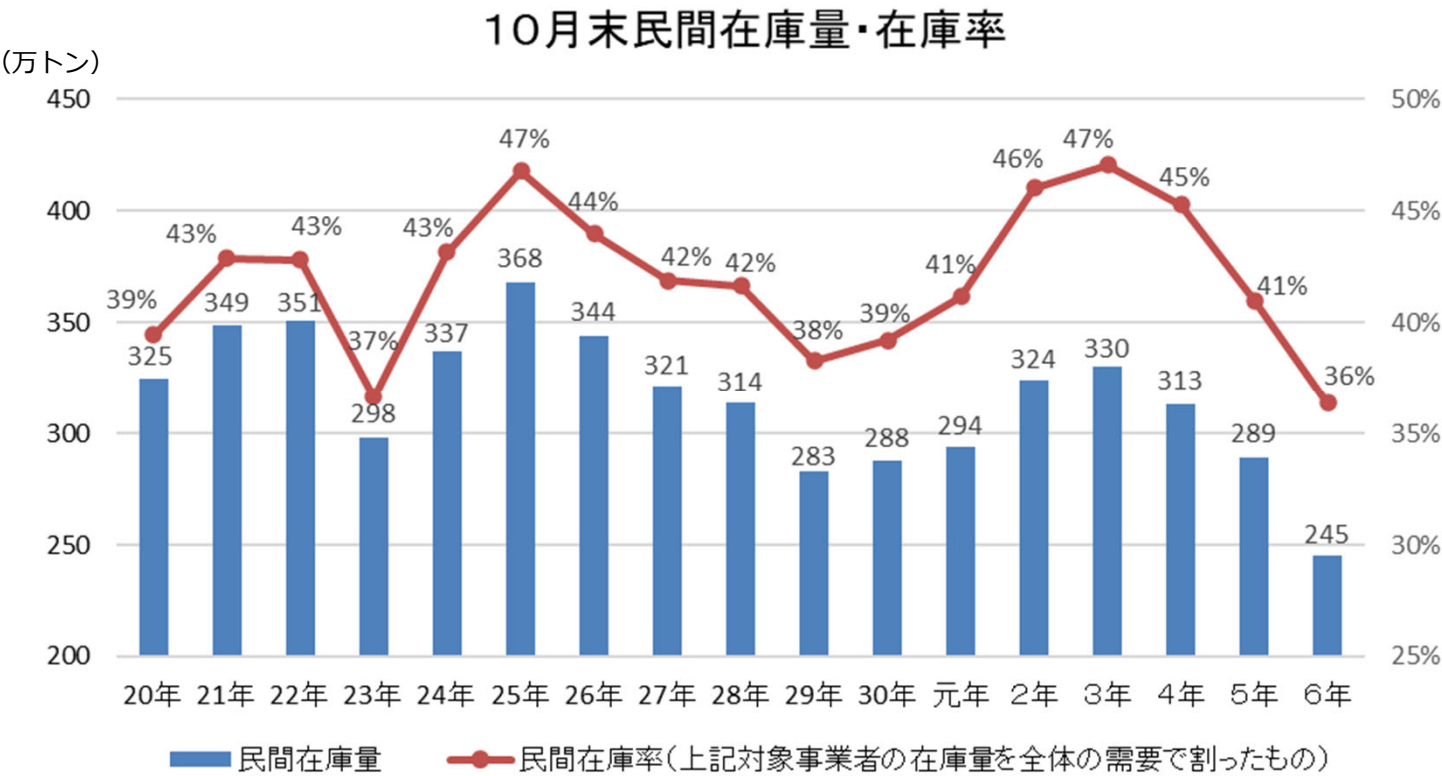


令和6年10月末民間在庫量のポイント

- 毎月公表している民間在庫量は、①500トン以上の集荷業者、②4,000トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の75%をカバー(別紙参照)。
- 令和6年10月末の民間在庫量は、前月公表値から修正が生じた9月末の対前年差▲51万トンから▲45万トンと減少幅は縮小したものの、10月末在庫としては近年では最も低い水準の245万トンとなった。
- これについては、令和6年産の生産量(10月25日現在)が679万トンと前年産より18万トン多い中で、出荷段階で対前年差▲48万トン、販売段階で同+4万トンとなっていることを踏まえれば、報告対象となっている集荷業者の集荷が前年に比べ減少していることが主な要因と考えられる。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量

(単位：万トン)

	6年9月末	6年10月末
出荷段階	113	187
対前年差	▲49	▲48
販売段階	36	57
対前年差	▲2	4
合 計	149	245
対前年差	▲51	▲45

※出荷段階は玄米仕入数量が500トン以上の集荷業者等
販売段階は玄米仕入数量が4,000トン以上の卸売業者等

○ 集荷業者の集荷数量

(単位：万トン)

	集荷数量	前年比
6年10月末	159.6	91%
5年10月末	174.9	

※集荷数量は販売数量が5,000トン以上の集荷業者等

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

	出荷段階	販売段階		生産段階
	年間取扱 500トン以上	年間取扱 4,000トン以上	年間取扱 500～ 4,000トン	
うるち米	【毎月調査ベース】 6月末在庫 115万トン ↓ 10月末在庫 245万トン			
もち米				

【米の基本指針ベース】
153万トン
(※6月末のみ調査)